

練馬区耐震改修促進計画(素案)に寄せられた意見と区の考え方について

1 区民意見反映制度に基づく意見の募集

(1) 周知方法

- ・ねりま区報（12月11日号）、区ホームページへの掲載
- ・区民情報ひろば、区民事務所（練馬を除く）、図書館（南大泉図書館分室を除く）、環境課・防災まちづくり課・建築課での閲覧
- ・区立小中学生用タブレットパソコンの「ブックマーク」で閲覧、児童館での閲覧

(2) 意見の募集期間

令和7年12月11日（木）から令和8年1月15日（木）まで

(3) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール、LoGoフォーム（電子申請サービス）

(4) 意見件数

138件（124名）うち子どもからの意見は137件（123名）

2 寄せられた意見の内訳（ ）内の数値は子どもからの意見数

| 項目               | 件数       |
|------------------|----------|
| 計画全般に関すること       | 76( 76)  |
| 耐震化の現況や目標等に関すること | 0( 0)    |
| 今後の取組みに関すること     | 29( 28)  |
| 関連施策に関すること       | 6( 6)    |
| その他              | 27( 27)  |
| 合計               | 138(137) |

3 意見に対する対応状況（ ）内の数値は子どもからの意見数

|   | 項目                           | 件数       |
|---|------------------------------|----------|
| ◎ | 意見の趣旨を踏まえ計画に反映しているもの         | 1( 1)    |
| ○ | 素案に趣旨を掲載しているもの               | 108(108) |
| □ | 素案に記載はないが他の施策・事業等で既に実施しているもの | 19( 19)  |
| △ | 事業実施等の際に検討するもの               | 1( 1)    |
| ※ | 趣旨を反映できないもの                  | 1( 1)    |
| － | その他上記以外のもの                   | 8( 7)    |
|   | 合計                           | 138(137) |

4 寄せられた意見（要旨）と区の考え方

| 番号                  | 意見   | 対応・回答  | 対応 |
|---------------------|--|--|----|
| 今後の取組みに関すること        |  |  |    |
| (施策4 耐震改修等に対する費用助成) |  |  |    |
| 1                   | <p>耐震対策の対象となった住宅の居住者への支援が計画にない。耐震対策を強いるなら、その間の生活の負担も区がすべてするべき。</p> <p>改修のための退去・仮住まい・家賃等は、区が負担し、住民補償とセットでないと従わないのではないか。</p> | <p>災害時において建物倒壊等の被害を生じさせないためには、耐震化を進める必要があります。</p> <p>建物の耐震化は、所有者の責任で実施すべきものであり、区では、費用助成など、耐震化を促進するための様々な支援を行っています。</p> <p>なお、住宅の耐震化工事では、転居の必要がない「居ながら工事」で行うことが一般的です。</p> <p>区民の生命と財産を守るため、新たな耐震改修促進計画に基づき、これらの助成や支援等の取組を充実しながら、一層の耐震化促進に取り組んでいきます。</p> | —  |

5 子どもから寄せられた意見（要旨）と区の考え方

| ばんごう<br>番号                | いけん がいよう<br>意見の概要   | く かんが かた<br>区の考え方  | たいおう<br>対応<br>くぶん<br>区分 |
|---------------------------|---|--|-------------------------|
| けいかくぜんばん かん<br>計画全般に関すること |   |  |                         |
| 1                         | <p>練馬区耐震改修促進計画を<br/>実行したほうが良いと思う。<br/>(ほか同じ意見 12件)</p>                | <p>区は、これまでも地震からみなさんの命やお家などの財産を守るため、耐震化を進めてきました。</p> <p>今後さらに耐震化を進めるため、新しい計画に基づき、支援や助成を手厚くして、災害に強いまちづくりにつなげていきます。</p> | ○                       |
| 2                         | <p>いつ大地震が起きてもおかし<br/>くない。耐震性があると安心で<br/>できるので、この計画はとても良<br/>いと思う。</p> |  | ○                       |
| 3                         | <p>地震から身を守るためにいい<br/>と思う。</p>   |  | ○                       |

|    |  |   |
|----|--|---|
| 4  | <p>建物が倒れづらくなると下敷きになりにくくなるだけでなく、その後避難や車が通ることができていいことがたくさんあると思った。</p> <p>(ほか同じ意見 2件)</p> | ○ |
| 5  | <p>家の被害が少なければ費用も抑えられていいと思った。</p> <p>(ほか同じ意見 1件)</p>                                    | ○ |
| 6  | <p>よく遊びに行くところが古くて地震が起きたら倒れてきそう。怖いのでこの計画は賛成です。</p>                                      | ○ |
| 7  | <p>東日本大震災のときみたいに建物が崩壊したりするのが怖いのでこの計画は嬉しいです。</p>  | ○ |
| 8  | <p>建物を地震に強くしておくと、地震が来たときに安心でいいと思います。</p> <p>(ほか同じ意見 4件)</p>                            | ○ |
| 9  | <p>練馬区で計画が進んでいる事をまったく知らなくて正直びっくりした。</p>  | ○ |
| 10 | <p>家具の固定や家の耐震化の重要性がよくわかりました。</p>   | ○ |
| 11 | <p>いつ地震が来てもいいように、しっかり逃げられるように道をつくり、すぐに逃げ込める場所をつくったほうがいいと思いました。</p>                     | ○ |
| 12 | <p>東日本大震災のような大きな地震が起こっても学校が崩壊しないために、窓に棒みたいな</p>  | ○ |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    | 地震を防ぐものがついていることは知っていたけど、他の被害が起こらないためにもいろいろな対策があることを知った。 |   |   |
| 13 | 近くに古い建物や今にも崩れそうな建物がないか探しながら歩き、地震に備えようと思いました。            |   | ○ |
| 14 | 地震に強い町づくりは大切だと思います。相談場所を開くだけでなく、相談をしに行くことも大切なことだと思います。  |   | ○ |
| 15 | 自分の家や周りの家が、地震が起きた時に崩れないか心配になった。<br>(ほか同じ意見 6件)          | 大きな地震は、いつ起きるか分かりません。<br>令和6年の能登半島地震でも、強い揺れによって、古い建物が多く倒 | ○ |
| 16 | 地震が起きたらすぐ倒れてしまいそうな古い建物がたくさんあって怖いと思った。<br>(ほか同じ意見 6件)    | れてしまいました。<br>建物が倒れると、中にいる人や近くに                          | ○ |
| 17 | 住んでいるマンションはすでに耐震工事をしていますが、少し不安です。                       | くにいる人が下じきになり、大げがをしたり、命を落としてしまうおそれがあります。また、倒れた建物が        | ○ |
| 18 | 地震の時に自分の家が大きく揺れた。<br>(ほか同じ意見 1件)                        | 道をつさいでしまうと、消防車や救急車が通れなくなり、助けに向かうことができない場合もあります。         | ○ |
| 19 | 練馬区は海が周りにないから津波の心配はないけど、家がたくさんあるから瓦礫に挟まりそう。             | こうした危険を防ぐために、引き続き、建物の耐震化を進めていきます。                       | ○ |
| 20 | 耐震性のある建物が増えてきているなど思った。でも、まだ古い建物も少しあると思った。               | 区内の住宅は、耐震化が進み、9割以上(94.5%)が耐震性のある建物となっています。              | ○ |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    |   | <p>まだ耐震性のない建物も少し残っているのですが、引き続き、建物の耐震化を進めていきます。</p>  |   |
| 21 | <p>老朽化した古い家の耐震化<br/>工事を進める。<br/>(ほか同じ意見 6件)</p> | <p>古い建物を耐震化することは、地震が起きても建物が倒れにくくして、みなさんの命や財産を守るために大切な取組です。</p>  | ○ |
| 22 | <p>地震が来ても大丈夫な建物を作る。<br/>(ほか同じ意見 9件)</p>         | <p>引き続き、建物の耐震化を進めていきます。</p>   | ○ |
| 23 | <p>マンション・アパートも多いから同じような対策をしてほしい。</p>            | <p>アパートやマンションも耐震化を進めていて、耐震化率は9割を超えています。新しい計画では、アパートやマンションも含めて10年後(令和17年度末)までに耐震化率100%を目指すこととしています。</p>              | ○ |
| 24 | <p>地震が起きた時に避難できるシェルターを児童館にも作ってほしい。</p>          | <p>大きな地震が起きたとき、建物のどこにいても安全でいられるようにするためには、建物全体をしっかりと耐震化することが大切です。</p>  | ○ |
| 25 | <p>シェルターをつくる。(1階、2階、地下)<br/>(ほか同じ意見 2件)</p>     | <p>しかし、さまざまな理由で建物の耐震化がむずかしい住宅については、部屋の一部を安全にする「耐震シェルター」や「耐震ベッド」の設置費用を区が支援しています。<br/>なお、区内にある児童館は、すべて耐震性がある建物です。</p> | ○ |
| 26 | <p>震度3以上の揺れを感知したら家が浮くシステムがある。(建てた後でもつけられる)</p>  | <p>建物の耐震化には、さまざまな工法があり、揺れを感じると空気の力で建物を浮かす工法(免震工法のひとつ)もあります。こうした工法で耐震化をする場合も区の助成の対象になります。</p>                        | ○ |

|                     |   |  |   |
|---------------------|---|--|---|
| 27                  | <p>税金の何%を使うのか疑問です。税金の30%以上を使うのなら、子どもの支援に回したほうが良いと思う。</p>  | <p>区の予算は、建物の耐震化をはじめ、子どもや教育、福祉などバランスをとりながら決めています。</p> <p>なお、令和7年度の予算では、小中学校や幼稚園、保育園、児童館など子どもに関するお金は、区全体で使うお金の約4割(39.9%)。建物の耐震化に使うお金は区全体で使うお金の約0.1%です。</p> | ○ |
| <p>今後の取組みに関すること</p> |   |  |   |
| 28                  | <p>もっと充実させてほしい。</p>   | <p>更に耐震化を進めるため、新しい計画に基づき、支援や助成を手厚く充実して、災害に強いまちづくりにつなげていきます。</p>  | △ |
| 29                  | <p>練馬区以外の他の市や区、県と耐震の取り組みについて連携してほしい。</p> <p>おじいちゃんおばあちゃんが遠くに住んでいることもあるので、もっといろいろな人がけがをしないで済むと思った。</p> | <p>建物の耐震化は、国が決める方針などを踏まえながら、全国の自治体がそれぞれ計画を作り、取り組んでいます。</p> <p>練馬区も計画を立てた上で、東京都や他の自治体と情報を共有したり、連携しながら建物の耐震化を進めるための取組を行っています。</p>                          | ○ |
| 30                  | <p>耐震化が、古い建物を改善することになれば、すべての人が対象ではなくなるのではないかと。</p>  | <p>古い建物は、その建物の所有者が、区の支援を受けながら、耐震化を進めることになります。</p> <p>古い建物の耐震化を進めれば、建物が倒れて周囲の道路をふさいだり、消防車や救急車が通れなくなったりするのを防ぐことがで</p>                                      | ○ |

|                      |  |  |   |
|----------------------|--|--|---|
|                      |  | <p>きます。</p> <p>耐震化は、その建物に住んでいる人だけでなく、まち全体を災害に強くすることにつながります。</p>  |   |
| <p>施策1 耐震化に関する周知</p> |  |  |   |
| 31                   | <p>地震で家を無くす人がたくさんいるから、家の耐震化についてチラシを書いて耐震化のご協力をお願いします。</p>  | <p>区では、耐震化に関する情報を掲載したチラシやパンフレットを作っています。</p> <p>耐震化の相談や個別に訪問した時などにこのチラシやパンフレットを使って、皆さんに耐震化のお願いや助成制度の説明など行っています。</p>   | ○ |
| 32                   | <p>耐震について相談できる窓口を作っても、その存在を知らない人がいると思う（特に若い人たち）。</p> <p>なので、インスタグラムやYouTubeのショート動画などで練馬区民の目に留まるような発信の仕方をする。耐震という言葉に触れることで考える機会も増やせる可能性がある。</p> | <p>区の公式YouTube、本庁舎や区民事務所のモニター（デジタルサイネージ）で、耐震化を支援する制度の紹介動画を放映するなど、耐震化についての情報を発信しています。</p> <p>今後は、新しい計画の中にインスタグラムやYouTubeのショート動画を活用することも反映して、あらゆる世代の方に耐震化の情報が届けられるようにしていきます。</p> | ◎ |
| 33                   | <p>首都直下地震がいつ起こるか分からないので、どんどん街の人に耐震の大切さを伝えていくと良いと思います。</p> <p>(ほか同じ意見 3件)</p>   | <p>耐震化の大切さを「知ること」は、とても重要です。</p> <p>ホームページ、広報紙やSNSなどを活用し、分かりやすい情報を発信していきます。</p>   | ○ |
| 34                   | <p>耐震基準や自分の家の耐震などについて何も知らないので、</p>   | <p>古い建物（昭和56年(1981年)5月以前の建物や平成12年(2000年)5</p>  | ○ |

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | <p>この機会に耐震基準について知りたい。区民の耐震基準の周知不足が課題だと感じる。</p>                              | <p>月以前の一部の木造建物)は、現在の耐震基準で調べる(診断する)と、耐震性が不足していることがあります。</p>  |   |
| 35  | <p>自分の家も耐震性があるか確認してくれたら安心する。<br/>地震のときに安全な場所も知りたい。<br/>(ほか同じ意見 2件)</p>      | <p>もし、耐震について不安があるときは、区の耐震総合窓口や建築士などの専門家に相談してみてください。</p>   | ○ |
| 36  | <p>耐震性の検索などをする。</p>   | <p>また、令和8年度からは、耐震性が不足している可能性がある木造住宅について、区が無料で耐震診断を実施する制度を開始する予定です。</p>  | ○ |
| 37  | <p>急に地震が起きたら怖いから、地震が来たら、スマホで知らせるのがいいと思う。<br/>(ほか同じ意見 1件)</p>                | <p>地震が起きた際には、緊急地震速報や区内の防災無線、メール配信などを通じて、地震発生のお知らせが届くようになっています。<br/>大地震はいつ起こるか分かりません。建物の耐震化をはじめ、日ごろから備えておくことが重要です。<br/>また、地震対策に関する情報は、ホームページ、広報紙やSNSなどを活用し、分かりやすい形で発信していきます。</p> | ○ |
| <p>しやく 2 そうだんたいせいなど きょうか<br/>(施策2 相談体制等の強化)</p> |   |   |   |
| 38  | <p>この機会に説明会などを開き、より多くの人に建物の安全性や耐震基準を知ってもらうようにしたらいいと考える。<br/>(ほか同じ意見 1件)</p> | <p>今後も学校や公園で開催している防災啓発イベント等を通じて小学生、中学生をはじめ、あらゆる世代の方に向けて、耐震化の必要性をお知らせする取組を行う</p>   | □ |

|  |   |  |   |
|--|---|--|---|
| 39   | <p>しょうがくせいむ たいしんか ひつようせい<br/>小学生向けに耐震化の必要性<br/>を説明したほうが良いと思う。</p>   | ていきます。   | □ |
| 40   | <p>か こ じしん ひがい こんごわたし<br/>過去の地震被害から、今後私<br/>たちに起こる可能性のある被害<br/>を伝え、耐震の重要性を子ども<br/>たちに伝える。区内の<br/>小中学校での講演会など。</p>   |  | □ |
| <p>し さ く し ょ う し ゃ こ べ つ ほ う も ん な ど け い ほ っ<br/>(施策3 所有者への個別訪問等による啓発)</p>   |   |  |   |
| 41   | <p>じしん お さい くず<br/>地震が起きた際に崩れる<br/>可能性のある家に住んでいる人<br/>や、所有者にメールなどで個人<br/>に伝える、それに加えて、今行<br/>っている取り組み（相談窓口が<br/>あることや、費用を一部負担し<br/>てくれることなど）も伝える。</p>                                    | <p>く ぶ る た て も の し ょ う し ゃ<br/>区では、古い建物の所有者に、手<br/>紙やメールを送ったり、個別訪問等<br/>を実施し、耐震化の大切さや区が<br/>行っている取組をお伝えしていま<br/>す。<br/>引き続き、必要な情報がしっか<br/>り伝わって耐震化が進むよう取り<br/>組んでいきます。</p>   | ○ |
| <p>し さ く た い し ん か い し ゅ う と う た い ひ ょ う じ ょ せ い<br/>(施策4 耐震改修等に対する費用助成)</p> |   |  |   |
| 42   | <p>だいじしん お いま<br/>大地震が起きたときに今まで<br/>は倒壊していたけど、耐震工事<br/>をすれば倒壊しないため、在宅<br/>避難が可能となる。そうすると<br/>避難場所の圧迫を防ぐから、エ<br/>コノミー症候群を防ぐことに<br/>もつながり死傷病者の減少に<br/>もつながるので、補助金などを<br/>出して推進してください。</p> | <p>た て も の た い し ん か だいじしん お<br/>建物を耐震化すると、大地震が起<br/>きても倒壊しにくくなり、けがをし<br/>たり命を落としたりする危険を減<br/>らすことができます。<br/>また、地震のあとも、そのまま<br/>自宅で避難生活ができる可能性が<br/>高くなります。<br/>耐震化の大切さや助成制度をお<br/>知らせして、より多くの方に耐震化<br/>を進めていただけるよう取り組ん<br/>でいきます。</p> | ○ |
| 43   | <p>く た い し ん か ひ ょ う た す<br/>区が耐震化の費用を助けてく<br/>れるのがすごくいいと思いまし<br/>た。</p>  | <p>す す<br/>を進めていただけるよう取り組ん<br/>でいきます。</p>  | ○ |
| 44   | <p>ざいさんほてんせいど つく<br/>財産補填制度を作ったほうが<br/>いいと思います。</p>   | <p>じしん みな いのち うち<br/>地震から皆さんの命やお家など<br/>の財産を守るため、耐震化を進める</p>   | — |

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
|    |   | <p>ことが大切です。</p> <p>耐震化にあたっては、費用負担の課題があるので、区では、費用の一部を助成して、耐震化が進むように取り組んでいます。</p> <p>なお、財産補填制度は災害等で失った財産をお金で埋め合わせるための制度で、すでに国が制度を設けています。区では、地震があっても財産などの被害を防ぐ（財産を失うことを未然に防ぐ）ため、耐震化助成などの支援に取り組めます。</p>                                      |   |
| 45 | <p>練馬区は武蔵野台地にあるし海が近くに無いことから、地震による被害は少ないと思うので、お金を多く出したりする必要はないと思います。</p> | <p>練馬区は海から離れているため、津波の被害は受けにくいですが、地震の揺れは場所に関係なく起こります。</p> <p>首都直下地震等による東京の被害想定によると、練馬区では、約12,500棟に被害があり、負傷者は約3,500人と想定されています。</p> <p>耐震化は、その建物に住んでいる人だけでなく、まち全体を災害に強くすることにつながります。</p> <p>そのため、新しい計画に基づき、支援や助成を手厚く充実して、建物の耐震化を進めていきます。</p> | ※ |
| 46 | <p>耐震化にかかる費用の補助金は大体どのくらいまで出るのですか？</p>                                   | <p>一般的な住宅の場合、耐震診断は12万円、実施設計は22万円、耐震改修工事は130万円まで助成金制度があります。</p> <p>また、高齢者や障害者等が居住する住宅などについては、助成金</p>  | ○ |

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
|  |  | <p>の上乗せがあります。</p> <p>さらに、大きなマンションや震災時に消防車や救急車などが通行する重要な道路沿いの建物などには、より多くの助成金制度が設けられています。</p> |  |
|--|--|---|--|

施策5 信頼できる技術者の育成

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 47 | <p>技術者の育成も大切だが技術者志望を増やすことも大切なのではないでしょうか。</p> <p>耐震技術に携わる人が増えれば耐震の建物を増やしていくことや、技術の向上にもつながるかもしれないことから技術者への支援をより行ってほしい。</p> <p>耐震技術のPRもより一層行い、技術者も耐震を求める人も増えれば区全体が地震につよいまちとなれるのではないのでしょうか。</p> <p>(ほか同じ意見 1件)</p> | <p>耐震の仕事をする技術者を増やすことは、地震に強いまちにしているために、とても大切です。</p> <p>区では、耐震改修工事に関する事業者向けの講習会を開催したり、区民が安心して耐震改修工事に取り組めるよう、イベントや情報発信を行っています。</p> <p>こうした取組が、耐震の仕事に興味をもつ人を増やすきっかけにもなると考えています。</p> <p>これからも、技術者を支える取り組みや、耐震化の普及を進めていきます。</p> | ○ |
|----|--|---|---|

関連施策に関すること

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 48 | <p>いつも通る道に古いブロック塀があって心配。</p> <p>(ほか同じ意見 2件)</p> | <p>区では道路等に面していて、倒れると危ないブロック塀等について、塀を取り壊す際に区が費用の一部を補助する仕組みがあります。</p> <p>また、危ない塀の所有者や管理者には危ないところをなおして安全な状態にするようお願いして、安全で災害に強いまちの実現を進めています。</p> | ○ |
|----|---|--|---|

|            |  |  |   |
|------------|--|--|---|
| 49         | <p>練馬区耐震改修促進計画を<br/>読んで、命を守るために、自分<br/>の家の倒れてきそうな家具を倒<br/>れてこないように、固定しよう<br/>と思った。<br/>(ほか同じ意見 1件)</p> | <p>家具が倒れると、怪我をしたり、<br/>避難の妨げになることがあります。<br/>そのため、家具をしっかりと固定して<br/>おくことはとても大切です。<br/>区では、家具を固定する器具の<br/>紹介や、災害時に自分達の力で<br/>避難することが難しい世帯（避難<br/>行動要支援者のみ世帯）への設置<br/>支援を行っています。</p> | ○ |
| 50         | <p>地震の際、家具が倒れてくる<br/>可能性があるから、それを防ぐ<br/>ために突っ張り棒などの防災<br/>用品を区民に配布する。</p>                              | <p>避難することが難しい世帯（避難<br/>行動要支援者のみ世帯）への設置<br/>支援を行っています。</p>  | ○ |
| <p>その他</p> |  |  |   |
| 51         | <p>古い建物は新しいものに建<br/>て替えてもいいと思う。<br/>(ほか同じ意見 2件)</p>  | <p>古い建物を建替えたり、リフォー<br/>ムしたりするのは、所有者の人が決<br/>めることですが、区では、できるだ<br/>け古い建物を地震に強くするため<br/>に耐震改修工事への助成など、さ<br/>まざまな支援を行っています。</p>  | ○ |
| 52         | <p>古いマンションや空き家はリ<br/>フォームして塾や〇〇教室な<br/>どを開いたりすれば良いと思<br/>いました。</p>                                     | <p>古い建物を地震に強くするため<br/>に耐震改修工事への助成など、さ<br/>まざまな支援を行っています。</p>   | ○ |
| 53         | <p>道が塞がれないために、マン<br/>ションをなるべく少なくする。</p>  | <p>区内の大事な道沿いでは、大きな<br/>地震が来た時に道が塞がれないよ<br/>うにするために、区では、できるだ<br/>け古い建物を地震に強くするため<br/>の耐震改修工事への助成など、さ<br/>まざまな支援を行っています。</p>   | ○ |
| 54         | <p>すぐ家に住めるように、なる<br/>べくすぐ家を直してほしい。</p>   | <p>区では、大地震が起きた場合の<br/>建物倒壊などの被害を減らすため、<br/>建物の耐震改修工事への助成な<br/>ど、さまざまな支援を行っていま<br/>す。</p>   | □ |
| 55         | <p>地震が起きて家が倒れたら、<br/>練馬区のお金で新しい家を建<br/>ててほしい。</p>  | <p>大地震が起こってしまった場合<br/>には、震災直後に当面の生活を守る<br/>ための応急的な支援や、家の建替</p>   | □ |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    |   | <p>えや生活を再建するための支援をおこなう制度（災害救助法、被災者生活再建支援法など）があります。</p> <p>これからも、多くの方が安全に暮らせるよう、地震への備えを進めていきます。</p>  |   |
| 56 | <p>古い建物が多いけど、工事はうるさいので嫌だ。</p>               | <p>工事の音が気になるというご意見はもつともで、区としても理解しています。</p> <p>しかし、古い建物は地震で倒れる危険があり、周りの人の安全を守るためには耐震工事がとても大切です。</p> <p>区では、工事の騒音をできるだけ少なくするよう事業者と協力をお願いしながら、安全なまちづくりを進めています。</p> | — |
| 57 | <p>耐震性強化ガラスを安くしてほしい。<br/>(ほか同じ意見 1件)</p>    | <p>地震に強いガラスの値段は、メーカーや販売するお店が決めるため、区が直接安くすることは困難です。</p> <p>区では、耐震性強化ガラスの助成は行っていませんが、地震対策に関する情報をホームページ、広報紙やSNSなどを活用し、分かりやすい形で発信していきます。</p>                        | — |
| 58 | <p>もし地震や災害が起こった時のために、防犯器具をたくさん売ってほしいです。</p> | <p>災害時における地域の安全・安心を維持するため、平常時からパトロール団体や地域防犯防火連携組織への活動支援を行うとともに、防犯カメラなどの防犯対策物品の購入および設置に係る費用の一部を助成しています。</p>  | □ |

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
|    |   | <p>また、災害時は警察等と連携し「安全安心パトロールカー」による強化巡回等を実施します。</p> <p>引き続き、警察や関係機関等と連携しながら、地域の安全・安心を守る取り組みを進めていきます。</p>   |   |
| 59 | <p>学校がボロすぎます。<br/>所々ひびが入っているところがありました。</p>          | <p>練馬区立小中学校の半数以上が築50年以上経過し、老朽化が進んでいるため、「練馬区学校施設管理基本計画」に基づき、年3～4校ずつ改築または長寿命化改修工事を行っています。</p> <p>その他、屋上防水外壁改修、トイレ改修など年に数校ずつですが計画的に工事を進め、学校施設の維持管理に努めています。</p> <p>校舎内の壁にひび割れなどを発見した場合には、先生や事務職員に教えてください。学校と相談しながら、補修等を検討していきます。</p> | □ |
| 60 | <p>道路を液状化しにくくする。</p>                                | <p>液状化を防ぐことは困難ですが、「東京の液状化予測図」によると練馬区内は、比較的液状化が起りにくいと予測されています。</p> <p>道路や建物の液状化被害を軽減するために技術革新、関連する国の動向などを注視していきます。</p>  | — |
| 61 | <p>ダンゴムシの姿勢で身を守る。マンションの近くで地震が起きたらみんなの体を守ることが大事。</p> | <p>地震のときに体を守るために、すばやく身をかがめて頭を守る行動はとても大切です。</p> <p>また、地震の時に危険な建物から</p>  | ○ |

|    |  |  |   |
|----|--|--|---|
|    |  | <p>離れることも大事です。</p> <p>引き続き、建物の耐震化を進めるための取組を行っています。</p>   |   |
| 62 | <p>避難所を増やしたほうが良いと思います。</p> <p>(ほか同じ意見 1件)</p>  | <p>大きな地震が起きた時は、区立の全小・中学校(98か所)が避難所となります。災害の状況によって避難する人が増えた場合は、他の区立施設を開設して臨時の避難所を増やします。</p> <p>混雑によって環境が悪化せず、良好な生活環境を確保する対策をします。</p>  | — |
| 63 | <p>練馬区は環状八号線や環状七号線などの主要な道路が通っています。環状線内の建物は木造建築が多いと聞きます。しかし、その建物を全て改築することは難しいと思います。</p> <p>そのため、地域の防災訓練で実施することや消防のための道具の改修を行うことが重要だと思います。</p> | <p>区内の大事な道路沿いの建物や住宅は、耐震化が進み、それぞれ9割以上が耐震性のある建物となっています。引き続き、建物の耐震化を進めるための取組を行っています。また、区では、日頃から地域のみなさんと一緒に安否確認訓練や初期消火訓練に加えて、避難された全ての人が安心して避難生活を送れるよう炊き出し訓練なども行っています。</p> <p>一部の地域では、誰もが使えるように消火器を道路上に置くだけでなく、消火能力が高い「スタンドパイプ」を区立施設やコンビニなどに置いて、火事による被害を少なくするためのそなえを進めています。</p> | □ |
| 64 | <p>公園に避難グッズを用意しておく。</p>  | <p>区では、公園整備にあたり、敷地等の状況に応じて、防災資機材を保管する防災備蓄倉庫等を設置しています。</p>  | □ |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    |   | <p>また、都立公園では、防災用の照明設備やトイレ等を整備しています。公園は、地震や火災が発生した際の一時的な避難場所ですが、周囲の安全を確認した後、区の指定する避難所（区立小中学校）に移動することになります。</p> <p>区では、避難所に食料や水などの避難生活に必要な物資を備蓄しています。</p> <p>引き続き、良好な避難所環境が確保できるよう物資の充実に取り組んでいきます。</p>  |   |
| 65 | <p>生活に絶対に必要な食べ物や水などは、三日経ったらじゃなくてもっと早く来ると良いと思う。</p> <p>(ほか同じ意見 4件)</p> | <p>避難場所となる区立小中学校には、700人分の水や食料などを準備しています。</p> <p>足りない場合には、区が備蓄倉庫などから避難場所まで運び、避難した人たちにお届けします。</p> <p>大きな地震が起きたときでも、自分の家が安全な場合には、そのまま生活することが基本です。</p> <p>生活が続けられるように、日頃から1週間分の水や食料を用意しておくことが大切です。</p> <p>昨年、各家庭にお配りした「防災の手引」には地震へのそなえに役立つことが書いてあるので、読んでみてください。</p> | □ |
| 66 | <p>避難場所に食料を増やしてほしい。避難した人たちみんなが、食べられるようにしたい。</p>                       | <p>避難場所にある食料は、味や栄養などを確認し、アレルギーがある人でも安心しておいしく食べられるものを選んでいきます。</p>  | □ |
| 67 | <p>避難したときの食べ物をおいしいものにしたい。</p>   |   | □ |
| 68 | <p>ガスとかを使って食べられるようにしたい。</p>   |   | □ |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
|    |   | <p>あたたかい<sup>あたたかい</sup> しょくじ<sup>しょくじ</sup>をつくることができ<br/>るように、ひなんばしょ<sup>ひなんばしょ</sup>には、かまどや<br/>バーナーなどの道具<sup>どうぐ</sup>もじゆんび<sup>じゆんび</sup>してい<br/>ます。</p>  |   |
| 69 | <p>ダンボールやさいがい<sup>さいがい</sup>グッズ<sup>グッズ</sup>をくぼ<sup>くぼ</sup><br/>てほしい(じしん<sup>じしん</sup>がおきた<sup>あ</sup>つつか<sup>つか</sup><br/>う。ひなんじよ<sup>ひなんじよ</sup>でプライバシー<sup>プライバシー</sup>を<br/>かくほ<sup>かくほ</sup>確保<sup>確保</sup>する)</p> | <p>ひなんばしょ<sup>ひなんばしょ</sup>には、プライバシー<sup>プライバシー</sup>をまも<sup>まも</sup><br/>れるテントやくうき<sup>くうき</sup>を入れてつか<sup>つか</sup>うエ<br/>アーベッドをじゆんび<sup>じゆんび</sup>しています。<br/>ひなん<sup>ひなん</sup>ひと<sup>ひと</sup>おほ<sup>おほ</sup>かったり、ひなん<sup>ひなん</sup><br/>せいかつ<sup>せいかつ</sup>なが<sup>なが</sup>くなったりするばあい<sup>ばあい</sup>には、<br/>ダンボールベッドやパーティーショ<br/>ンをつくっているかいしゃ<sup>かいしゃ</sup>きょうりよく<sup>きょうりよく</sup><br/>てもらってひなんばしょ<sup>ひなんばしょ</sup>とど<sup>とど</sup>届けるなど、<br/>ひなん<sup>ひなん</sup>ひと<sup>ひと</sup>あんしん<sup>あんしん</sup>せいかつ<sup>せいかつ</sup><br/>きるかんきょう<sup>かんきょう</sup>とどの<sup>とどの</sup>を整<sup>整</sup>えます。</p> | □ |